

学生支援センター自律支援部門
語学パートナー制度運営
学生団体 ACTION

学生団体 ACTION および 語学パートナー制度(タンデム)について

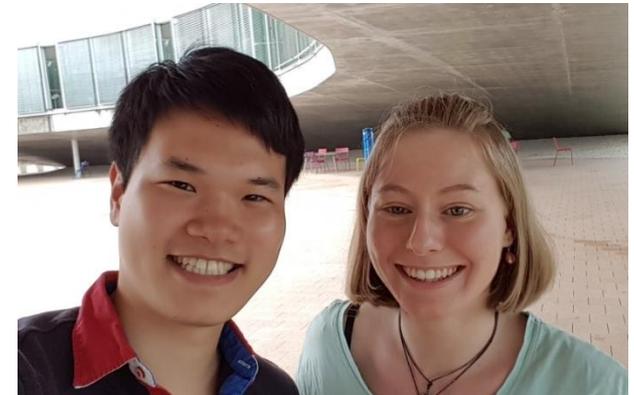
語学パートナー制度とは？

お互いの**学びたい言語**と**教えられる言語**が一致する学生同士でパートナーを組み、外国語を教え合う語学プログラム

※欧米ではTandem(タンデム)やLEP(Language Exchange Partner)とも呼ばれる

特徴

- 時間・場所・頻度・教材は自由
 - 空きコマなどのスキマ時間に行える(大学生ならでは)
 - 各々のやる気に応じた相互的な語学学習
- 通常の語学の講義よりも実践的な時間を多く取れる
 - スピーキング中心



1. 代表自己紹介

■ 名前 松尾 博史

■ 学年 博士 3年

■ 所属 工学院 機械系

学振特別研究員DC1

グローバルリーダー教育院 7期生

トビタテ留学JAPAN 4期生

■ 留学 学部3年: 超短期派遣(アメリカ)

学部4年: 超短期派遣(スウェーデン)

修士1-2年: 派遣交換(スイス, EPFL, 1年間)

博士1年: Visiting Student(アメリカ, MIT, 3か月)

博士2年: Invited Researcher(スペイン, UPV/EHU, 1か月)



2. ACTION 団体概要

ACTION

A Committee of **T**okyotech **I**nternational **O**pen **N**etwork

メンバー

14名（内訳：博士1名，修士6名，学部7名）

部署

応募・広報，参加者サポート，統計・調査，渉外，ネット管理

団体理念

語学学習を通じ

日本人学生と留学生の交流を活発化させ

今の停滞した雰囲気に一石を投じる

3. 本団体の成り立ち

初代代表

足達 哲也（2019年3月修士修了）

- ・工学院 システム制御系 ・トビタテ留学JAPAN 4期生
- ・派遣交換（ドイツ, ミュンヘン工科大）



年表

- 2016年8月-2017年7月 : 足達・松尾留学 (**Tandemを経験**)
- 2017年10月 : 東工大でのTandem運営方法について検討
- 2018年8月** : **ACTION創立** (代表: 足達, 副代表: 松尾)
- 2018年10月-11月 : 第1期実施(3Q)
- 2018年12月** : **Tokyo Tech Summer/Winter Program と連携開始**
- 2018年12月-2019年3月: 第2期実施(4Q)
- 2019年4月-9月 : 第3期実施(1,2Q)
- 2019年6月** : **学生支援センター自律支援部門への所属**
- 2019年10月-11月 : 第4期実施(3Q)
- 2019年12月-2020年3月: 第5期実施(4Q)

4. 語学パートナー制度概要

4.1. 本制度のねらい

- 外国語学習(主に会話)の機会を提供し、東工大生の**語学力向上**を後押しする.
- 外国語学習を通じて、他国の**文化・社会背景を知る機会**を提供する.
- 日本人学生と留学生間の**交流を活発化**させる.
- 上記3つにより、東工大における**留学に対する気運**を高める.

4.2. 核となるニーズ

「信頼感・安心感が高く、
気軽に自由に語学学習が行える機会」

4. 語学パートナー制度概要

4.3. 各期ごとの流れ

① 参加者募集

(Facebook, Twitter, 電子掲示板, メールニュースによる広報)

※利用規約・プライバシーポリシーへの同意



② 運営メンバーによるマッチング

(言語, 頻度, スケジュール, 趣味・興味をもとに)



③ マッチング結果の通達



④ 運営メンバー立ち合いの顔合わせ会

(本人確認, 注意事項説明, アイスブレイク, 初回日程決め)



⑤ 参加者アンケート, 応募状況統計, 参加者へのインタビュー

5. 運営メンバーの仕事

部署

応募・広報, 参加者サポート, 統計・調査, 渉外, ネット管理

大まかな仕事

- 募集期間前後のルーティーン(一過性)
- 月1,2回程度の定例ミーティング(2時間)
- 大学や外部とのやりとり(主に松尾)

週の占有時間は多い時で8時間
通常は3時間程度

5. 運営メンバーの仕事

部署

応募・広報, 参加者サポート, 統計・調査, 渉外, ネット管理

募集期間前後のルーティーン

① 参加者募集

応募フォームの開設, ビラの設置, メールニュース依頼, SNSでの宣伝

② 運営メンバーによるマッチング

マッチング主導

③ マッチング結果の通達

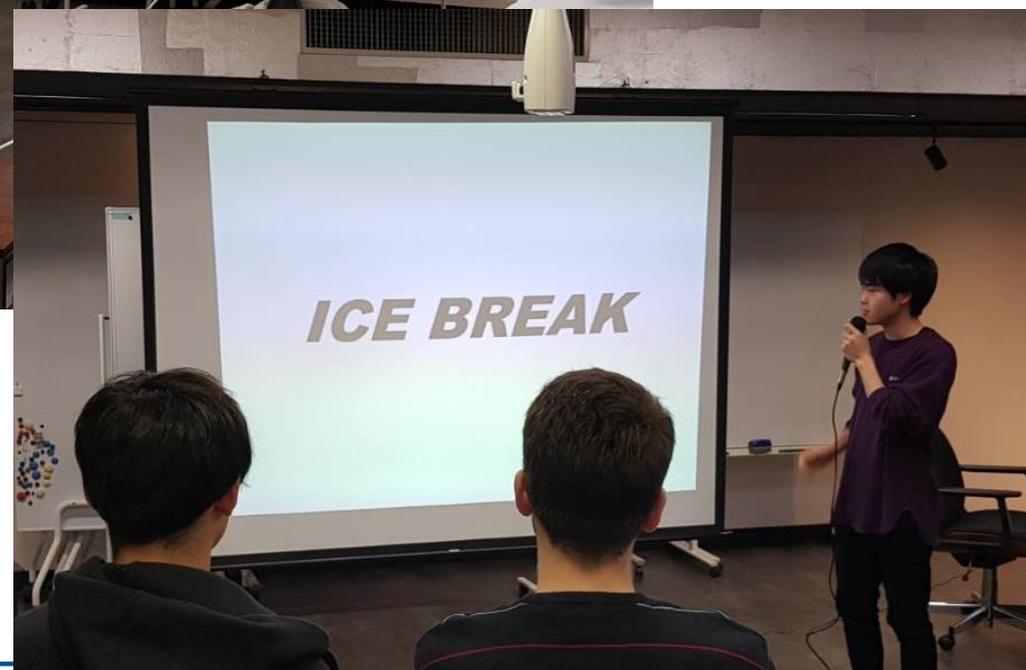
応募者へのメール送信, 個別顔合わせの日程調整

④ 運営メンバー立ち合いの顔合わせ会

顔合わせ会運営, 欠席者対応, 個別顔合わせ立ち合い

⑤ 参加者アンケート, 参加者へのインタビュー, 応募状況統計

5. 運営メンバーの仕事



6. これまでの活動実績

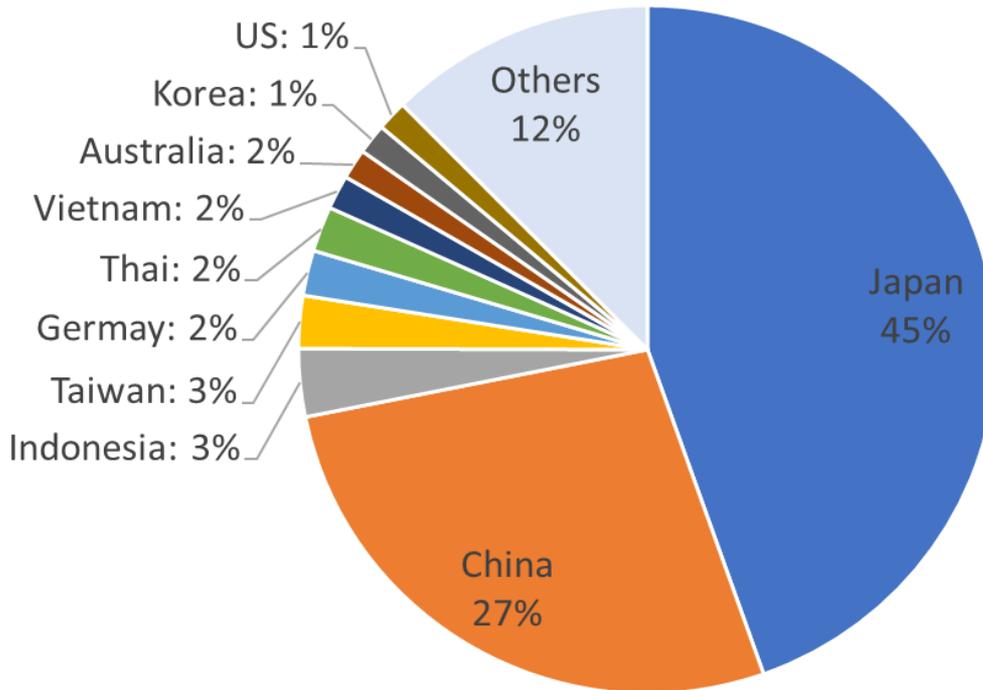
6.1. 応募者数と成立ペア数の推移

時期	応募者数	成立ペア数(人数)	マッチング率
2018年3Q	163	43(86)	53%
2018年4Q	114	43(86)	75%
2019年1,2Q*	147	51(101)	69%
2019年3Q	141	52(104)	74%
累計	565	189(378)	67%

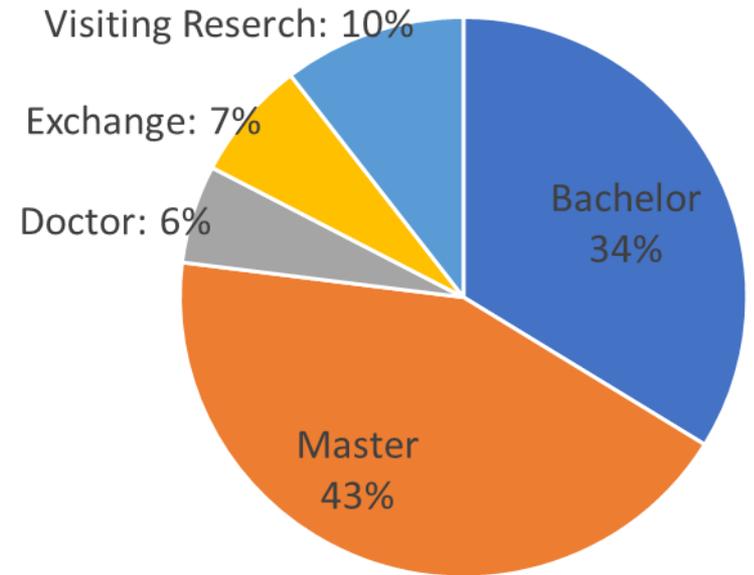
*1,2Q間に1回のみ募集

6. これまでの活動実績

6.2. 応募者の内訳(累計565人中)



(a) 国籍

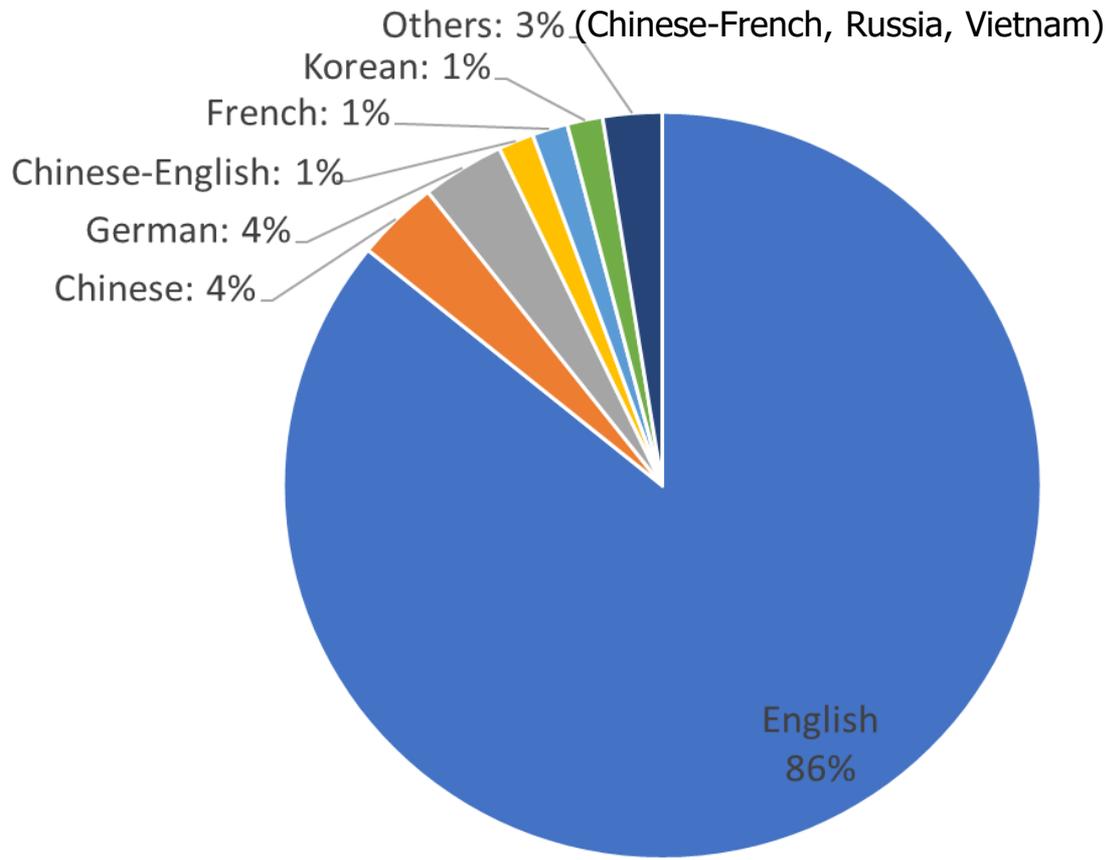


(b) 学年

Others:
 Egypt, Malaysia, Holland, Philippines, Sweden, Mongols, Singapore, Spain, Sri Lanka, Ukraine, Bangladesh, France, Italy, Mexico, Netherland, Poland, Qatari, Syria, UK, Bosnia, Cambodia, Canada, Ecuador, Finland, Hungary, Jamaica, Nepal, Norway, Peru, Portugal, Switzerland, Tunisia, Turkey

6. これまでの活動実績

6.3. 成立ペアの内訳(累計189ペア中)



言語組合せ

6. これまでの活動実績

6.4. 参加者からの声

異なる文化を知った

自国の文化や言語
の理解が深まった

違う考え方を知った

語学力が上がった

外国語で会話する
楽しさを感じた

留学生の友達ができ

80%以上の参加者が
スピーキング・リスニング
能力の向上を実感

60%以上の参加者が、
当団体によるサポート期間
終了後も、パートナーとの
学習を継続



7. 今後の展望

最終目標:

「この先数十年続くような制度にする」

- マッチング方法の改善
 - フォーラムサイトの構築
- 学内の様々な留学プログラムへのアプローチ
 - 言語を豊富に(特にヨーロッパ圏言語)
- 国際交流拠点“Taki Plaza”の一大コンテンツに
 - 語学パートナー制度用オープンスペースの確保



是非一緒に本制度を広めていきましょう！